

NEC Express5800/100シリーズ Express5800/E110b-M

3

ソフトウェア編

Express5800シリーズ用に用意されているソフトウェアについて説明します。

「添付のDVDについて」(80ページ)

N8141-49モジュールエンクロージャ(1way)に添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに収められているソフトウェアについて紹介します。

「管理PC用バンドルソフトウェア」(83ページ)

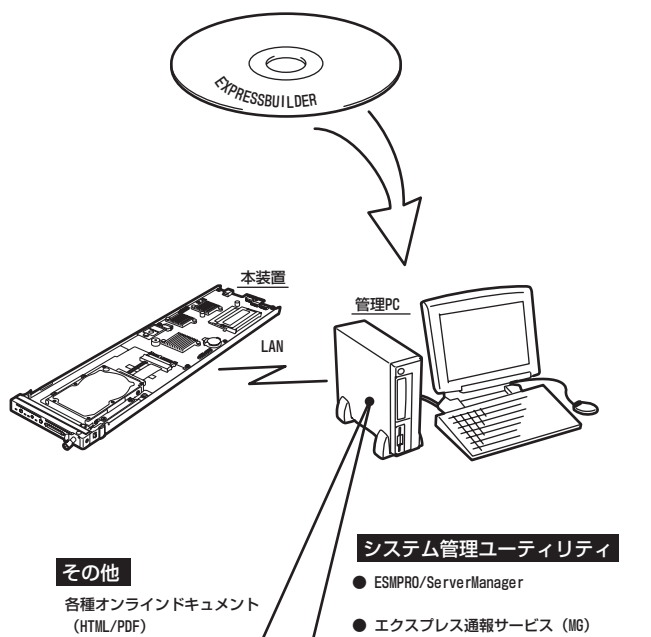
本体を監視・管理するための管理PCにインストールするバンドルソフトウェアについて説明します。

添付のDVDについて

N8141-49モジュールエンクロージャ（1way）に添付の「EXPRESSBUILDER」DVDには、各種バンドルソフトウェアが収録されています。これらのソフトウェアを活用することにより、本装置の機能をより多く引き出すことができます。



「EXPRESSBUILDER」DVDは、紛失しないように大切に保存しておいてください。



* コンソールレスで操作する場合、COMポートも使用可能。

CD-ROM装置のみの管理PCを使用したいとき

EXPRESSBUILDERはDVDメディアにて提供しているため、DVDメディアが読み込める装置のあるコンピュータでないと各種ソフトウェアのインストールをすることができません。CD-ROM装置のみのクライアントマシンへソフトウェアをインストールしたい場合は、次のような手順にて、いったんCD-R等へコピーしてから使用してください。



本手順は、クライアントへソフトウェアをインストールする目的に限り、CD 1枚分のみコピーすることができます。

1. 本装置など、DVDメディアが読み込める装置へ「EXPRESSBUILDER」DVDをセットする。
2. オートランメニューが起動した場合は終了させる。
3. エクスプローラから、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納された以下のファイル・フォルダをハードディスクドライブへコピーする。

¥(ルートフォルダ) : version.xmlをコピー

```

|
+--- ¥005
|
|   +---- ¥ar_menu 以下すべて
|   |
|   +---- ¥doc以下すべて
|   |
|   +---- ¥win以下すべて

```

4. 手順3にてコピーしたファイル・フォルダをそのままのフォルダ構造にてCD-Rへコピーする。

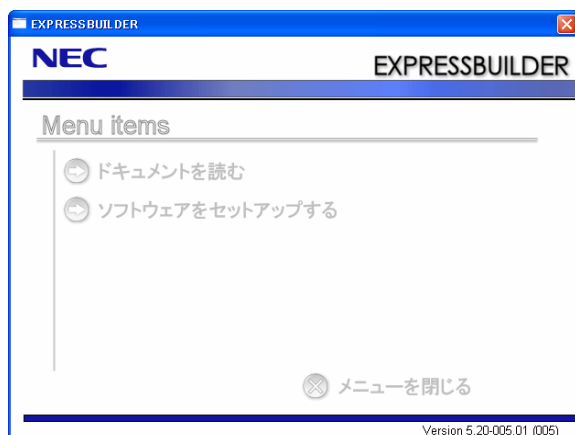
コピーするときは、ルートフォルダを一致させてください。

5. CD-Rへのコピーが完了したら、手順3にてコピーしたハードディスクドライブ上のファイル・フォルダはすべて削除する。
6. 手順4で作成したCD-RをクライアントマシンのCD-ROM装置へセットする。
7. エクスプローラから、CD内の以下のファイルを実行する。

¥005¥ar_menu¥autorun_menu.exe (32bitエディションの場合)
autorun_menu_x64.exe (64bitエディションの場合)

オートランで起動するメニュー

Windowsが動作しているコンピュータへEXPRESSBUILDERをセットすると、オートラン機能によりメニューが起動します。



セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

メニューからは、Windows上で動作する各種バンドルソフトウェアのインストールやオンラインドキュメントを参照することができます。



オンラインドキュメントの中には、PDF形式の文書で提供されているものもあります。このファイルを参照するには、あらかじめAdobeシステムズ社製のAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていないときは、あらかじめAdobeシステム社のインターネットサイトよりAdobe Readerをインストールしておいてください。

メニューの操作は、ウィンドウに表示されているそれぞれの項目をクリックするか、右クリックして現れるショートカットメニューを使用してください。また、一部のメニュー項目は、メニューが動作しているシステム・権限で実行できないとき、グレイアウト表示され選択できません。適切なシステム・権限で実行してください。



DVDを光ディスクドライブから取り出す前に、メニューおよびメニューから起動したオンラインドキュメント、各種ツールは終了させておいてください。

管理PC用バンドルソフトウェア

モジュラーサーバをネットワーク上から管理するための「管理PC」を構築するために必要なバンドルソフトウェアについて説明します。

ESMPRO/ServerManager

モジュラーサーバをネットワーク上の管理PCから監視・管理するには、本体にバンドルされているESMPRO/ServerManagerをお使いください。



ESMPRO/ServerManagerの使用にあたっての注意事項や補足説明がオンラインドキュメントで説明されています。添付の「EXPRESSBUILDER」DVD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManagerインストールガイド」を参照してください。

エクスプレス通報サービス (MG)

エクスプレス通報サービスに登録することにより、システムに発生する障害情報（予防保守情報含む）を電子メールやモデム経由で保守センターに自動通報することができます。

本サービスを使用することにより、システムの障害を事前に察知したり、障害発生時に迅速に保守を行ったりすることができます。

エクスプレス通報サービス(MG)は、エクスプレス通報サービスにおいて、モジュラーサーバからのアラートを保守センターに通報するためのプログラムです。

モジュラーサーバは、直接ESMPRO/ServerManagerにアラートを送信します。そのため、エクスプレス通報サービス(MG)はESMPRO/ServerManager側にインストールします。

セットアップに必要な契約

エクスプレス通報サービスを有効にするには、以下の契約等が必要となりますので、あらかじめ準備してください。

- **本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービスの契約**

本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービスのみの契約がお済みでないと、エクスプレス通報サービスはご利用できません。契約内容の詳細については、お問い合わせの販売店にお問い合わせください。

- **開局にあたって**

エクスプレス通報サービスを開局する際には、ご契約毎のご契約情報を記録した「エクスプレス通報サービス 開局キーファイル」を、通報対象の装置に適用する必要があります。「エクスプレス通報サービス 開局キーファイル」は、弊社での開局準備ができ次第、エクスプレス受付センターから提供いたします。ファイルの提供とその適用方法には、以下の2通りの方法があります。

1. **ネットワーク経由でダウンロード**

エクスプレス通報サービスをNECサポートパック登録ホームページ、もしくはお客様登録のサイトからお申し込みの場合、お申し込みの手続きを実施いただき、弊社での開局準備完了後、「エクスプレス通報サービス開局キーファイル」をダウンロードできます。ダウンロード後、インストレーションガイドに従い、「エクスプレス通報サービス開局キーファイル」を設定頂くようお願いします。

2. **通報サービスの通報開局CD**

エクスプレス通報サービスを製品同梱の申込用紙もしくは契約書で申し込みの場合、お申し込み内容を確認し、弊社での開局準備完了後、エクスプレス受付センターより、「エクスプレス通報サービス 開局キーファイル」を格納した「通報開局CD」を送付いたします。お申し込み手続き後しばらくお待ちください。「通報開局CD」到着後、インストレーションガイドに従い、設定してください。

受信情報の設定

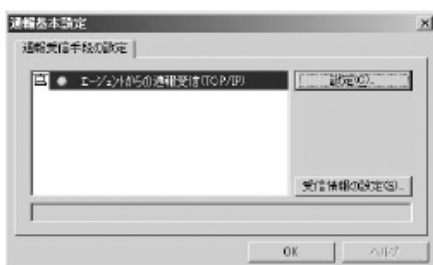
エクスプレス通報サービス（MG）でモジュラーサーバのアラートを通報するためには、まず、受信情報の設定を行う必要があります。次の手順で設定を行ってください。

- 「受信情報の設定」ツールの起動

ツールは以下の手順で起動します。

1. ESM/ServerManagerがインストールされた管理PCから[スタート]－[ESMPRO]－[統合ビューア]をクリックし、アラートビューアを起動する。
2. アラートビューアの「ツール」メニューから「通報の設定」を選択する。

「アラートマネージャ」画面が表示されます。「通報基本設定」ボタンを押して「通報受信手段の設定」画面を表示させてください。



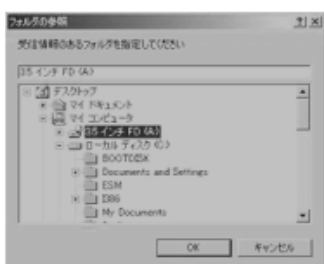
3. 「受信情報の設定」ボタンをクリックして受信情報の設定ツールを起動する。



- 受信情報の格納場所の設定

1. 「受信情報の格納場所」エディットボックスに直接格納場所を入力するか、または「受信情報の設定」画面の「参照」ボタンを押す。

「参照」ボタンを押すと以下に示す「フォルダの参照」画面を表示します。



2. 受信情報のある場所を指定して「OK」を押す。

- ※ 受信情報は以下のURLからダウンロードすることができます。
以下の手順に従って受信情報を任意のローカルフォルダに格納して下さい。
なお、本ダウンロード物件はVMware ESXi搭載装置向けと記載されていますが、受信情報は本装置でも使用可能となっています。

(ダウンロード先)

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010100096>

(受信情報のローカルフォルダへの格納手順)

1. 上記URLから、RPTMG_ESXI.ZIP をダウンロードし、任意のローカルフォルダに格納します。
2. RPTMG_ESXI.ZIP を展開し、RPTMG_ESXIというフォルダに格納されている受信情報ファイル(xx.mtb)を抽出します。
3. 受信情報ファイル(xx.mtb)を任意のローカルフォルダに格納します。

例：bmc_200.mtb

以下の画面のように「受信情報の格納場所」に指定した場所が表示されます。



● 受信情報の読み込み

「読み込み」ボタンを押すことにより、「受信情報の格納場所」から受信情報が読み込まれます。読み込まれた情報は、「受信情報の読み込み状況」リストビューに表示されます。何も表示されない場合は、登録可能な情報が「受信情報の格納場所」にない場合です。



- 登録操作

「受信情報の読み込み状況」の項目を確認し、登録が必要なものを選択し、「登録」ボタンを押すことで登録が行えます。登録が完了すると、画面は以下のようになります。

- 削除操作

「受信情報の登録状況」に表示している項目を選択して、「削除」ボタンを押すことにより登録の削除が行えます。

- 終了

「閉じる」ボタンを押すと「受信情報の設定」ツールは終了します。

エクスプレス通報サービス(MG)のセットアップについては、「オンラインドキュメント」を参照してください。

メ モ
